

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 10月 4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101977		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームうぐいすの家		
所在地	〒734-0041 広島市南区黄金山町6番5号 (電話) 082-510-2555		
自己評価作成日	平成26年9月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470101977-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年9月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>玄関や中庭に季節の花木があり、花や柿の実等を見て楽しんで頂いている。利用者と共にプランターで花や野菜を植え、共に手入れをして育てる事で会話も増え、共感を得ている。オルガンの伴奏で歌を歌って楽しんで頂いたり、季節を感じられる工作を行いリビングの壁に飾って楽しんで頂いている。調理や掃除・洗濯・縫い物等、日常生活の中で出来る事をして頂いている。ホーム内で色々な行事を行い季節を感じて頂いている。法人全体で旅行や花見、寿を祝う会を企画し、ご家族も支えて楽しんで頂いている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所は、広島市南部の黄金山中腹にある住宅街の一角に位置し、2階建て民家を改築した1ユニットの事業所で周囲の環境に自然に溶け込んでいる。又、この事業所は法人にとって発祥の地で、ここから色々なノウハウを体得した多くの職員が育てられ、グループ内の各事業所にとって目標となっている。今は、利用者が殆ど入れ替わり、比較的元気な方々が入居されているので、職員は設立当初を思い起こしながら、グループホームの基本的な在り方を大切にし、事業所が最も重視している、「おおいに動き、仲間と共に協力して自立した生活を継続する」事と「家庭的な雰囲気の中で落ち着いた日々を過ごすよう」職員がきめ細かな配慮をされている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の中に組み込まれており、毎朝申し送り時に読み合わせをしている。理念を元にホームごとに目標を立て日々取り組んでいる。	法人の理念を居間に掲示すると共に、各職員は理念が記載された携帯用カードを保持して、毎日の朝礼時に唱和・確認を行っている。又、法人の新年互礼会にて、各事業所ごとに前年度の事業所目標の振り返りと、新年度の目標を発表して理念が実践に繋がるよう取り組まれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会役員を担当し、定期総会の準備・町内会費の管理・回覧の管理等を担っている。町内会清掃行事への参加等行っている。	毎月の町内清掃に、職員・利用者（一部の方）が参加したり、回覧板を届けたり、日々の散歩等の機会を捉えて地域の方々と日常的に交流・会話が為されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域からの相談（認知症の方への対応、施設入居、介護方法等）に応じるよう努めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	日常の生活の様子を参加者に伝え、ホームへの理解・意見を頂いている。また、町内会行事予定等を知らせて頂いている。	定例的に運営推進会議は開催され、事業所の状況報告や意見交換が為されているが、参加メンバーに偏りがあり参加者人数も少ない。今年度、自治会役員の方が交代されたので、新役員の方に推進会議への出席をお願いして会議の充実に取り組まれている。	開催日をウィークデーや土・日曜日と工夫する事で、市町職員や地域包括支援センター職員等の行政関係者の参加・意見聴取、及び地域住民・利用者・家族等の幅広い層からの参加に一層の努力を注ぐ事により、今後の会議が充実したものとなるよう期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市主催の研修や集団指導に参加している。生活保護受給者の生活課担当者と密に連絡を取っている。	市町との連携は、主に法人代表が行われている。又、管理者は利用者の中に生活保護受給者がおられるので、2ヶ月に1回行政の担当者が事業所を訪問される機会を捉えて、日常の相談や報告を行い密接な協力関係を築くよう取り組まれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束排除宣言」を掲げ取り組んでいる。玄関の鍵を閉めない、ベッド柵で囲まない等実践している。</p>	<p>法人全体の研修会や外部研修で「身体拘束をしないケア」について基本的な事を学ぶと共に、日々のケアに於いて気付いた点はその都度、職員相互に注意しあい、最善の方法を話し合っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルの作成、職員全員で再確認と注意喚起を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内・社外研修に参加している。必要な方は制度を利用出来るように対応に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、重要事項説明書等は十分な説明を行い理解して頂き押印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族からの意見・要望の窓口として玄関に意見箱を設置し、運営に反映させている。又、面会時にはご意見を伺っている。</p>	<p>家族の意見は、主に面会時に聞いている、併せて毎月送付する「近況報告の手紙」を通じて意見聴取に努め、家族から出された意見・要望については、法人全体で取り組んでいる「ホーム長ノート」に記載して、代表者・職員に伝え事業所運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>1年に1回自己申告書を提出している。ミーティング等で管理者が得た意見は代表者へ報告し、業務に反映させている。</p>	<p>職員の異動や処遇・職場環境に関する意見は、毎年の自己申告書に記入して、法人代表に提出されている。又、日常は必要に応じて、事業所ミーティングを開催し、内容・結果は管理者を通じ法人代表に繋げられ運営に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員から管理者、管理者から代表へと意見等を把握して、条件整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年間を通して研修プログラムを作成し、社内外・キャリアパス等の受講機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の同業者交流会に参加し、サービスの質の向上に役立てている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>サービスの利用開始の相談を受ける段階から情報を把握している。入居後も職員全員で情報を共有し、ケア方法を検討してご本人が安心して穏やかに過ごせるような関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用開始前から電話や訪問で困っている事、不安な事等について話を聞き、対応できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族の思いを傾聴している。情報を共有し、ケアマネを含めて必要な支援を相談・検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者主体であることを常に理解し、できる事はやって頂いている。できない事も職員が全て行うのではなく、一緒に行うようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人と家族の思いを考慮し、行事への参加の声掛けをしている。面会時にはゆっくり過ごして頂けるよう配慮を行うとともに、必要時には職員も一緒に話をしていく。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居時、本人や家族に馴染みの人や場所について聞いている。馴染みの人の話をしたり場所に行き等、関係が途切れないように支援に努めている。</p>	<p>利用者の要望に応じて、年2回音戸（呉市）の自宅に帰ったり、娘さんが事業所に泊まりに来られる等、可能な限り馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援に努められている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、ソファの席や食卓の席を考えている。また、会話のできる場を作ったり職員も会話の輪に入って円滑なコミュニケーションがとれるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去されたり他施設を利用されても相談等に応じ支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族の思いを聞き、アセスメントに記入しケアに反映させている。本人の思いを聞けない場合は表情や仕草から思いをくみ取りケアを行っている。	日々の会話・表情・動作から利用者の思いや意向を把握しながら、センター方式によるアセスメント表を活用して、本人・家族の意向を詳細に記入する事で全職員が利用者及び家族の思いに添えるよう取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前、入居時に本人や家族から話を聞き、アセスメントやプランに役立てている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活の様子を把握し、職員間で情報共有し生活支援に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>日々の生活の状況について情報共有し、本人・家族の意向を確認し、今後の生活について話し合いプランを作成している。1カ月毎のモニタリング、4ヶ月ごとにプラン作成をしている。</p>	<p>まず、介護支援専門員が暫定のケアプランを作成し、全職員及び利用者・家族・関係者の意見を求め、それらの意見を総合してケアプランが完成されている。毎月モニタリングを行いケアプランの確認や修正が為され、4カ月毎にケアプランの見直しが行われている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人の生活日誌に生活の様子や気付きを記録している。必要事項は申し送りノートを使用して、職員全体で情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>職員が同行して外出や通院をしている。家族がホームに宿泊する等家族の状況や希望に添うよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや清掃行事に参加している。近隣を散歩し、地域の方と会話する機会もある。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>希望があれば入居前のかかりつけ医に受診を継続している。希望がない場合は本人・家族の承諾を得て事業所の協力医の診察を受けている。定期的に往診や検査を受けている。</p>	<p>従来から利用されていたかかりつけ医、又は事業所の協力医の何れを選択するかは利用者・家族の希望に沿って決められ、受診支援は職員が行っている。受診結果は記録に残すとともに家族への報告も適宜行われ、適切な医療を受けられる様に支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎朝健康チェックを行っている。健康チェック時以外も状況観察を行い、異変があった場合は事業所の看護師に速やかに報告・相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際には職員が面会に行き、洗濯物の管理、必要時には付き添いや食事介助を行っている。病院の相談室や看護師と情報交換し、早期退院に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居前、入居時に重度化した時の対応について家族の意向を確認している。事業所では看取りを行うことも説明し、医師や職員と協力し取り組んでいる。</p>	<p>入居時に、重度化に伴う意思確認と事業所方針を提示し、看取りまで対応し得る事を利用者・家族に説明されている。過去の数多くの経験を踏まえ、状況に応じて医師・看護師・職員・家族等で連携し、安心して納得出来る最期を迎えられる様に努められている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成し、実践に繋げることができるよう初期研修等に取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成している。年2回、利用者・職員共に参加し避難訓練を行っている。</p>	<p>消防への自動通報装置やスプリンクラーを備え、法人全体での連絡・協力体制と明確な役割等を防災マニュアルに定めて、定期的な訓練が行われている。又、近隣との協力体制を構築すべく町内会役員と地域防災体制の確立を目下進めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重し、プライドを傷つけないよう丁寧な言葉かけを行っている。プライバシーにも充分配慮し、職員同士気をつけながら対応している。	社内外の研修会に於いて、認知症介護における「尊厳」と「個人情報の責任ある取り扱い」について徹底するよう職員教育に努め、特に言葉（馴れ馴れしい言葉使い、幼児語、待って！）等については注意するよう指導されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で一緒に行動しながら思いを表出し易い雰囲気を作ったり、自己決定し易い会話をするよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の流れの中で、ご本人の様子を把握し、本人のペースに合わせて共に行動し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の好みや意向を確認し、一緒に服などを準備している。外出時にはスカーフや帽子等でおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の下ごしらえや盛り付け、片付けなど職員と一緒にやっている。好きな物を取り入れるよう献立を一緒に考えたりしている。	日常の食事については、メニューを考え近隣のスーパーへの買い物、下準備、調理、配膳、片付け等、一連の流れを職員と利用者で行い、季節野菜に拘ると共に週1回は「さしみ」も提供されている。時に出前や外食も取り入れ変化を持たせる工夫も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量・水分摂取量等を記録している。気付きや変化についても記録し、職員間で情報を共有するよう努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行い、口腔内の状態を観察している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の状態を記録し，一人ひとりのパターンに合わせてトイレ誘導を行っています。</p>	<p>詳細な排泄記録に基づき、さり気ない声掛けと適切な誘導によりトイレでの排泄が行われ、入居時は紙オムツやパッド使用の利用者の殆どがトイレで排泄できるようになり、排泄に係る費用も随分軽減された。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>運動、体操、散歩等で体を動かし水分摂取量も満たすことで自然排便を促すよう努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人の体調や意向に合わせ、個々に応じた入浴の支援をしている。又、季節を楽しめるようしょうぶ湯やゆず湯も行っている。</p>	<p>原則的には、毎日（日曜日を除く）午後3時～夕刻まで入浴が可能となっている。然しながら入浴を好まない利用者については、週3回は最低入浴され清潔さを保つよう取り組まれ、ゆず湯等の入浴剤の活用も工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人の体調や精神状態を観察しながら休息して頂いている。週に1回はシーツ交換を行い、天気の良い日は布団干しをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服用している薬品名や効用・副作用・用法について記録している。服用による症状の変化の有無等を観察し、必要時には医師に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの生活歴や趣味、楽しみ等を把握し、本人の意向も確認して役割や楽しみを通して気分転換に繋げている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩や買い物に出かけたり、玄関前の野菜や花の世話をしたり外気浴をしたりしている。又、1泊2日のバス旅行も計画している。	日々の近隣の散歩や買い物等は、利用者の体調及び天候に応じて適宜行われている。又、花見や1～2泊の旅行（職員・家族の付き添い）も毎年実施され、「楽しい思い出」作りとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホームに手元金をお預りしていたり本人が持っておられる場合もある。本人の希望により職員と買い物に出かけたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば子機を使用してゆっくり電話ができるよう配慮している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>快適で安心して過ごせる環境であるよう、清潔・安全な環境設備を心掛けている。季節感のある壁飾りを作って飾ったり中庭の景色を楽しんで頂いている。</p>	<p>季節の生花をさりげなく飾り、和気あいあいと話したり、体操をしたり、諸々の作業を仲間と共に行って、家庭的な雰囲気に包まれながら、1日1日をあたかも自宅で過ごされているよう落ち着いた様子が見られた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人掛けソファや3人掛けソファに座ってお話をされたり、食卓の席に座ってお茶を飲んだり、手作業をする等に過ごしていただけるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居される際に使い慣れた物を持参して頂き、自宅と同じように過ごして頂いている。</p>	<p>1階は和室4部屋、2階には洋室5部屋、其々の部屋にはベッドと空調機器が備え付けとなっている。利用者が以前から使い慣れた物やテレビ、仏壇、家族の写真等の必要な物を持ち込んで、日々の生活に支障をきたさないよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>民家の為、階段や段差が多くあるが、職員が常に見守りや声掛けを行うことで今までと同じように行動して頂いている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームうぐいすの家

作成日 平成26年11月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の緊急避難をスムーズに行う	1 利用者の安全を守る	①夜間を想定した避難訓練を実施 ②実際に夜間職員に緊急招集をかける	1年
2			2 町内会と災害協定の締結	①運営推進会議を通して災害時の協力を得るをお願いをする ②消防署の方に訓練や会議に参加して頂き協力を得る	1年
3	4	運営推進会議の出席者が限られており、参加人数が少ない	家族や行政関係者に幅広く参加して頂き、実りある会議にする	開催日を固定せず、家族や行政関係者が幅広く参加できるようにする	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。